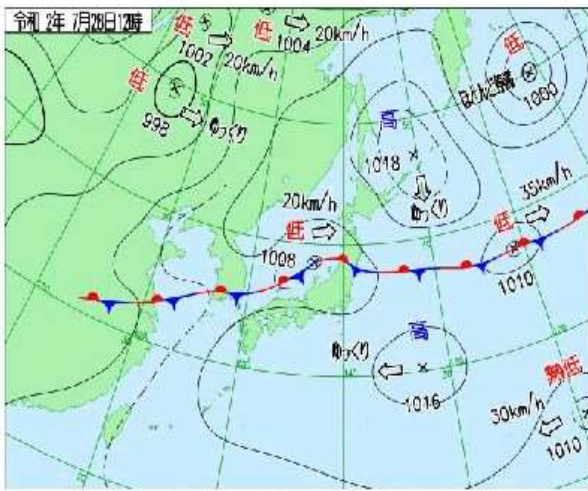


あだたら

八月二日(日)

漸く梅雨明け、
今年の梅雨は、
切れ目が無く、長かった、
山行計画も実施できなかつた。

報告 編集部



梅雨明け直前7月29日正午の天気図、列島上空に前線。しかも福島県上空で屈曲。こういうのも、珍しい。

第381号

発行所 山形県 湯川市 湯川 山形県 湯川市 湯川 山形県 湯川市 湯川

八月二日(日) 漸く、今年
の梅雨が明けました。梅
雨入りは六月十一日頃で
したが、六月末から七月殆ど
晴れた日がありませんで
した。台風も発生しません
で。例外は七月十九日
(日) 一日だけ、朝から夜
まで晴れ、奥岳でネオワイ
ズ彗星を見る事もできま
した。



奥岳からの ネオワイズ彗星

編集部連絡先
二本松市 本町1-1-5
0243(22) 4245
FAX可 渡辺 正

山道整備、天候不良予想さ
れたため延期、七月十三日
(月)に予定しましたが、
再度延期、八月九日(日)
に予定しています。七月二
十六日(日)の筆山登山道
整備も天候不良で延期。期
日は未定です。

七月四〜五日、山開き当
日に予定していた、七月山
行「浅草岳」も、天候不良
で中止。行事計画の殆どが
実施できていません。天候
不良の甚だしさを実感して
います。

八月二日(日)は梅雨明
けた当日、事務局の予定
は午前中市内亀谷坂露伴亭
で取材、夕方からは安達太
良小児童向けの星空観察
会、それに出掛ける準備し
ていたら、午後四時二十八
分、携帯電話に着信。

▼十六時二十八分 生活環
境課□□さんから電話、出
動要請。湯川溪谷、屏風岩
で滑落事故、五十一歳男性、
右肩骨折か脱臼、消防本部
が救助に向かっているが、
警察署から、あだたら山の
会からも二〜三名出動、協
力依頼をして欲しいと言
事だった。

▼□□会長と連絡、□□会
長は即出動できる、あとは
塩沢登山口に近い人、□□
さん、□□□さんに出勤依
頼することとした。

▼十六時三十二分、□□□
さんは、すぐ出動できる、
と言う事で出動依頼した。
次に、□□さんに連絡、□
□さんはサイレン聞いてス
キー場に赴いた由奥さんに
聞く、奥さんに出動依頼の
情報伝えた。

▼十六時三十三分、□□□
に再度連絡、□□さんに直
接出動依頼。

▼十六時三十七分市役所生
活環境課に三人に出動依頼
した旨連絡する。

▼十八時過ぎ、□□□会長か
ら現場到着との連絡、現場
は屏風岩向の棧橋の一番
奥、□□さんも一緒とのこ
と。

▼十九時二十六分、□□□
さんから連絡、登山口に無
事下山、要救助者も歩いて
下山の由。

▼二十時十九分、市役所生
活環境課から、迅速に対応
して頂いて感謝しますとの
電話、出動経費の手続きは
明日以降連絡とのこと。

▼二十時五十二分、□□□
長から全員無事下山の連絡、
星空観察教室終わった頃見
計らって連絡してくれたら
いい、私はまだ安達太良小
にいた。

▼今回の出動手当
▼手当、夏期半日、四時間
以内、七千五百円、降雨あ
り、悪天候加算、一・五倍
で一万二千二百五十円
▼交通費食料費、千円、
合計一万二千二百五十円

今日の仕事が一段落し、
二FでPCを触り始めた十
六時頃サイレン(救助工作
車)とピーポー(救急車)音。
塩沢スキー場に向かった
様子。即駆けつけると二台
から八人が降り立ち準備
中。「何処ですか?」と聞
くと「屏風岩付近で滑落で
す」の返答。組み立て式担
架や添え木、酸素ボンベが
見えた。ほどなくしてパト
カーも来てなじみの警官だ
ったので情報収集。要救助
者は五十歳代の男性ソロ。
屏風岩の先で二十mほど滑
落。意識は有るが左肩を強
打、顔面裂傷で出血有り。
左脚にも異常有り、救助要
請(本人からの申請・三時
半頃)。八人が行ったので
こっちの出番は無いなと
判断して警察官二人と担架
搬送の下山予定時刻などを
話していると、女房殿が駆
けつけて「事務局より出動
要請が来た」少々迷ったが
老体に鞭打つことにして帰
宅して準備。四時半頃事務
局から電話で再度出動要
請、今準備中と答える。四
時四十五分塩沢スキー場に
戻り□□□会長と合流。□□
□さんは未着。現場にいた
警察官に「先行」の伝言を
頼み五時入山。天候・曇り、
無風、頭上はガス、幸い降
雨無し。途中のソロ下山者
から現場の状況や先行レス
キューウの位置等情報収集
し、六時屏風岩。六時十分
前に屏風岩先の棧橋部現場

湯川溪谷で救助活動

八月二日(日)

報告 編集部

五月六月は花見山行

報告 □□□□



2020/05/07

5月7日、霊山のヒトリシズカ

『五月七日、霊山のヒトリシズカ』

何年か前の五月三日、湧水の里より入山したとき、登山道を埋め尽くすほど見事にさきみだれていた「ヒトリシズカ」、また見たさに妻と行く。今年も新型コロナで三密を避け、連休明けに行く。駐車場には三台ほどの車。若者が十人位、三々四人のグループで入山して行く。十時三十分入山、期待していた「ヒトリシズカ」は花は終り、山道で少し見る事ができた

が、期待はずれ。だが新緑の中に山桜が咲き、見事だ。今回は山頂を避け霊山寺跡に。私は二回目妻は始めて。前は寺跡への道は笹がひどかった様な気がしたが、今回は綺麗に刈り私われ、寺跡も綺麗になり、建物の土台の飛び石(礎石)等も見ることが出来る。何よりも霊山寺跡の、見事に咲き乱れている満開の「二輪草」、すごい一言に尽きる。「ヒトリシズカ」に会う事はできなかつたが、見事な「二輪草」に会うことができ、大満足の山行であった。



2020/05/24 12:22

5月24日、矢大臣山の山ツツジ

『五月二十四日、矢大臣山の山ツツジ』

例年なら今日あたりが高柴山の山開き。私は高柴山の「ツツジ」が好きで、いつもの山友を誘い、妻と四人で行く。今回は今までは違う登山口、川羽内登山口からの入山。登山口の看板の所、五々六台は止められる駐車場もあり、判りやすい。入山後間もなく農道に入る。田畑を過ぎると杉林の中に入る。だからだの登り、前が開けると古い農道に出る。古くは畑などあった様だが、今は荒れて何も作付は無い。農道を進むと「湯沢」フナものがたり

の大きな看板、樹高三十メートル、幹廻り三、五十センチ、樹齢五百年の大木がまだ三本ほど有り、周りは刈私われ公園みたいになっている。農道終点が今まで登っていた合流点らしいが、少し面影が残っている。ここから山道になり「長持石」、「水場」を過ぎると、間もなく矢大臣山頂広場に出る。大きなかぶらの「山ツツジ」、今が三分五分咲と少し早かったが、楽しむ事ができた。今はツツジも手入れされてる様だが、私は自然体のツツジの方が好きだ。日射しを避け、見晴槽の下のベンチで花見三昧、登山者が横目で見て行く。



2020/06/01 11:39

6月1日、吾妻山、鎌沼

『六月一日、吾妻山、峰ヶ原のサンカヨウ』

浄土平駐車場は有料なので、免平駐車場に車を止め入山。車道脇に咲き始めた「サンカヨウ」の花をカメラに収め入山。浄土平では「イワカガミ」が咲き始め。酸ヶ平小屋へ一切経山コースは火山ガスで通行止め、バリケードで入る事ができない。姥ヶ原直登、「マイヅル草」は蕾が硬い。咲くのは時間が掛かりそうだ。木道階段から振り返ると、吾妻小富士や浄土平駐車場が見える。鎌沼近くに行く

と、まだ残雪があり峰ヶ原も三分咲き。妻が残雪を楽しんで居る。鎌沼からも酸ヶ平方面はバリケードで入る事ができない。天気もまいち。早々に姥ヶ原で昼食。ガスも上がり安心。西吾妻方面の残雪はまだ多い様だ。姥ヶ原十字路より東吾妻の登山道はまだ残雪が



2020/06/01 10:22

6月1日、吾妻山、サンカヨウ

あるみたいで、川の様に残っている。姥ヶ原では三分五分咲、「チングルマ」が咲き始めて居た。スカイラインもあちこち工事中で、片側交互通行の場所もあるが、通行止めは解除されていた。



二本松図書館のカウンタにあったシール

五月六月は花見山行

(続き)



6月8日、不忘山

「六月八日、不忘山、ユキワリコザクラ」

いつものメンバー四人で出発。白石スキー場七時前。駐車場に三千台近い車。朝食を済ませ七時半入山。白石女子高小屋跡を過ぎると登山道脇に「山ツツジ」が咲き見事なのだが、今年は花が少なく淋しい。休憩場所のエキトリ沢近くの「レンゲツツジ」もいまいち。弘法清水近くの「シラネアオイ」も花が小さく少ない。不忘の碑下のカレ場の「峰桜」が見頃、他は散り始め

ていた。カレ場で休憩。「ユキワリコザクラ」はじめ「イワカガミ」「ハクサンイチゲ」など、今迄よりは少ない様に思うが、私達の目を楽ませてくれる。不忘の碑を過ぎると花の数も多くなり、マダラ模様の残雪を見ながら山頂へ。予定より三十分遅れの十一時半、刈田岳方面からの登山者も多く山頂は賑やかだ。多くの花々と眺望を楽しみ、午後一時山頂から下山。白石スキー場駐車場へ四時無事下山、帰路に着く。六時半帰宅。



6月8日、不忘山、ユキワリコザクラ



6月16日、安達太良山、レンゲツツジ

「六月十六日、安達太良山、レンゲツツジ、オノエラン」

今度の安達太良山は「レンゲツツジ」と「オノエラン」を見るための入山。勢至平の「レンゲツツジ」は終りに近いが、まだ見られる。天気もいまいち、昼食後、峰の辻へ行く予定で小屋で昼食。小屋を出発後十分も歩かない内に鉄山に黒い雨雲、あきらめ引き返す。湯川コース分岐あたりで雨がパラパラ、引き返したのが正解と思いきや、金明水

は雨も上がる。だが馬車道で一本の「オノエラン」を見付ける事ができた。諦めていた「オノエラン」に逢う事ができラッキーとカメラに収める。久しぶりに奥岳遊歩道を下山。昨年の台風・大雨で深谷の滝の流れが少し変わった様子がするが、私の記憶違いかな？



オノエラン

いつものメンバーを誘い、南会津の田代山を計画したが田代林道が通行止。諦めて会津が駄目なら浜の背戸峠に行く事になった。前日の天気予報では、午後から雨との事、雨の中の河原歩きは嫌との事。別の場所を考えてとの事。テレビの天気予報では、山形は曇りで雨マークが無い。当日朝に山形の神室山に行く事にし、東北道・山形道を走り、関沢ICで降り、旧国道を笹谷峠の道に。しかしバリケードで入る事ができない。やむなく西蔵王高原ラインを通り、蔵王温泉へ。ケーブル乗場の駐車場が遅い朝食となる。刈田

岳まで行く事になり、エコーラインに入る。ライダースキーワールドあたりから熊野岳の山頂がはっきり見える。熊野岳も諦め刈田峠より芝草平に行く事になる。駐車場は多くの車でガードレールぎりぎり止める。十時十五分入山。山道には「チドリ草」「ツマトリ草」「チングルマ」「イワカガミ」など多くの花々が迎えてくれた。杉ヶ峰で休み、少し寒さもあり防寒着着用。「ハンショウヅル」や「峰桜」が迎えてくれ、沢には残雪も見ることができ。芝草平十二時、木道脇の湿原には、「チングルマ」「ヒナザクラ」「ワタスゲ」「イワイチヨウ」等埋め尽くされていた、やみつきになる様だ。遊歩道終点木



アオモリトドマツの枯れ木



6月22日、南蔵王・芝草平

道)で昼食。寒くて口元から白い物、震え上がってしまった。早々に切り上げ杉ヶ峰迄戻ると、天気も回復し刈田岳なども見えて来た。前山から眼下に広がる風景「アオモリトドマツ」の大木の殆どが枯れ、昨年の地蔵岳で見た傾向と同じである。蔵王の樹氷、やがて見る事が出来なく成るだろう。コロコロ変わった今回の山行、花見山行としては良かったかも知れないが、無計画の山行。危険な行動、深く反省している。